

## 1. 木質バイオマス関連情報

■北海道、「令和 2 年度木質バイオマス資源活用促進事業（低コスト集荷・搬出拠点効果検証事業）」の実施結果について事業報告書として取りまとめ、公表。林内に少量分散している林地未利用材を効率的に集荷・搬出・利用するための、地域の林業事業者が共用できる林地未利用材の集荷・搬出拠点（中間土場）についての効果的なあり方やコストの削減効果を検証し、その結果について広く普及を図ることを目的として事業を（株）森のエネルギー研究所（東京）に委託して実施。報告書等は下記サイトより PDF で閲覧可【北海道：2021/04/12】

[http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/03\\_biomass/r02teikosutosyuuka-houkoku.htm](http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/03_biomass/r02teikosutosyuuka-houkoku.htm)

■デンマーク電力大手のオーステッド、IT 大手のマイクロソフトや炭素回収技術を開発するノルウェーの Aker Carbon Capture (ACC) と協力し、デンマークのバイオマス火力発電所において、排出される炭素を回収・貯留 (CCS) するプロジェクトの開発を共同で検討へ。3 社は 4 月 16 日、同プロジェクトの開発を共同で検討することに合意する覚書 (MoU) に署名。オーステッドはマイクロソフトや ACC と協力し、バイオマス火力発電所から排出される炭素を回収・貯蔵することにより、科学技術、法規制、商業の各方面における課題に取り組み、商業的・社会的にも大きな影響を与える役割を努めるとしている【環境ビジネスオンライン：2021/04/20、オーステッド・ジャパン：2021/03/10】

<https://www.kankyo-business.jp/news/027894.php>

<https://orsted.jp/ja/news/2021/04/aker-carbon-capture-microsoft>

■バイオマス発電とハウス設備の統合管理による複合型施設園芸を進めている高知工科大学（高知）が、Internet of Plants（以下「IoP」）を通じた農業データの活用プラットフォームとしてウイングアーク 1st（株）（東京）の BI ダッシュボード「MotionBoard」を導入し、ダッシュボード画面を農家向けに開発したと発表。MotionBoard は複数のデータソースを集約・分析

し、一つの画面でリアルタイムに可視化できるようにしたツール。同大学は 2018 年に始動した「IoP が導く Next 次世代型施設園芸農業への進化プロジェクト」において、農家の収益最大化を目標とし、バイオマス発電や IoP を支える統合管理システムの構築に着手。「MotionBoard」を 2020 年 3 月に導入し、次世代型施設園芸農業のライフサイクル全体を網羅する統合管理システムのプロトタイプを完成させた。このプロトタイプは、ハウス内の各種環境データを監視・管理し、適切な栽培を行えるシステムの構築や排熱のハウスへの二次利用、農作物の出荷・栽培やそれにかかる人件費などの経営指標を一気通貫してデータ分析し、可視化する仕組みを構築。これにより、農家が主体的に BI ダッシュボード画面を制作・更新でき、また的確な環境制御を行うことで安定した出荷量を得られるようになり、収益最大化を図ることが可能になる【ウイングアーク 1st（株）：2021/04/20】

<https://www.wingarc.com/public/202104/news1395.html>

■米国主催で 4 月 22 日からオンラインで開催されていた気候変動に関する首脳会合（気候変動サミット）が 23 日、閉幕。国別削減目標として、米国が 2030 年に 2005 年比 50～52% 減、カナダが同 40～45% 減、日本が 2030 年度に 2013 年度比 46% 減を表明。ブラジルは排出量を実質ゼロとする時期を従来の目標から 10 年前倒しし、2050 年に。11 月に英国で開催の国連気候変動枠組み条約第 26 回締約国会議（COP26）のシャーマ議長（英国）は、「先進 7 カ国（G7）が 2050 年の脱炭素化に道筋をつける目標を出した」と評価。一方で産業革命前からの気温上昇を 1.5℃以下に抑えるパリ協定の努力目標の達成には「不十分だ」との認識を示し、より多くの国が対策強化を決断するよう促した【産経新聞：2021/04/23】

<https://www.sankei.com/article/20210423-NUSG3ZZIQLHBCYQ53OXFAJ6U/>

■政治主導で決断の「(温室効果ガス排出量) 46%削減」、問われる具体策。日本の新目標が決まったのは 4 月 22 日。菅首相

が同日の地球温暖化対策推進本部で新目標を従来目標の「26%減」から大幅な積み増しとなる「46%減」とする方針を打ち出し、その3時間後には気候変動サミットで各国に表明。これまで政府内では「40%台」の削減を軸に調整。しかし、再生可能エネルギー比率をどの程度まで引き上げるかといった具体的な議論が進まない中、「首相裁決」をアピールした形。「46%減」を実現するには、再生エネの一層の普及に加え、企業などに対しCO<sub>2</sub>排出量に応じて費用負担を強いる「カーボンプライシング」制度導入に向けた議論も進む見通し。いずれも間接的に電気代が上がるなどして国民負担が増す可能性も。政治主導で決断しただけに、今後は実現に向け道筋を示す責任が問われる【Jl.com : 2021/04/24】

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2021042301131&g=pol>

■エフビットコミュニケーションズ(株)(京都)、4月22日に高知県長岡郡本山町で「本山町バイオマス発電所・次世代園芸施設」の地鎮祭。本山町バイオマス発電所の発電出力は約1,990kWh、年間の想定発電量は14,900,000kWh(一般家庭約4,100世帯分)。主な燃料は地域の未利用間伐材。隣接する次世代園芸施設ではバイオマス発電所から排出される熱やCO<sub>2</sub>を再活用する計画で、パブリカを220t/年程度生産予定。発電所は2022年3月に、次世代園芸施設は2021年12月に完成予定【エフビットコミュニケーションズ(株) : 2021/04/26】

<https://www.fbit.co.jp/news-parent/news/1488.html>

■丸紅(株)100%子会社の丸紅クリーンパワー(株)(東京)と関西電力(株)100%子会社の(株)関電エネルギーソリューション(大阪)が秋田市で計画していた石炭火力発電所の新設を断念。菅首相が2050年までに温暖化ガスの排出量を実質ゼロにする目標を表明し、政府の規制強化や金融機関の融資停止など、脱炭素の流れが強まっている中で、地元・秋田県の自治体や経済界は「残念だが、やむを得ない」と冷静に受け止めている。秋田港火力発電所(仮称)は秋田湾沿岸の県有地約47haに3,000億円超を投じて石炭火力発電所2基(1号機、2号機各65万kW)を建設、2024年に運転を開始する予定だった。今後、両社は木製チップを使うバイオマス発電を中心に石炭から他の燃料への切り替えを検討。事業が継続可能か判断する。猿田副知事は「秋田港を活用したバイオマス発電などの可能性は残っている。県内の産業振興に役立つよう、時代に合った事業展開を支援していきたい」と強調【日本経済新

聞、(株)関電エネルギーソリューション : 2021/04/27】

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC276AE0X20C21A4000000/>

<http://www.kenes.jp/information/20210427-01.html>

■石炭火力発電所の新設計画に強まる逆風。丸紅(株)(東京)と関西電力(株)(大阪)は4月27日までに秋田県での新設計画を中止する方針を決定。電源開発(株)(東京、以下「Jパワー」)も4月16日に山口県で宇部興産(株)(東京)とともに計画していた西沖の山発電所(仮称)(60万kWの発電所2基)の新設計画を断念すると公表。温暖化ガスの排出量が多い石炭火力の新設計画はこれでゼロに【日本経済新聞 : 2021/04/28、Jパワー、日本経済新聞 : 2021/04/16】

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ071432440X20C21A4TJ2000/>

[https://www.jpowers.co.jp/news\\_release/2021/04/news210416\\_1.html](https://www.jpowers.co.jp/news_release/2021/04/news210416_1.html)

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ071054330V10C21A4TJ1000/>

■神奈川県松田町内の山林で伐採された間伐材を有効利用しようと、町が5月から町健康福祉センター「健楽の湯」に県内初の木質バイオマスボイラを設置。町は2021年4月20日に2050年までに二酸化炭素排出量ゼロを目指す「松田町ゼロカーボンシティ宣言」を表明。今回、「健楽の湯」に設置したボイラでは、約52t/年の木質バイオマスを使用するといい、同町では間伐材の確保とともに、間伐材から薪を製造する事業の安定化のための仕組みづくりを検討していく【カナロコ : 2021/04/29、環境展望台 : 2021/04/22】

<https://www.kanaloco.jp/news/government/article-486334.html>

<https://tenbou.nies.go.jp/news/jnews/detail.php?i=31833>

■再生可能エネルギー事業への融資名目で金融機関から約4億円をだまし取った疑いが強まったとして、東京地検特捜部が4月27~28日、太陽光発電関連会社「(株)テクノシステム」(神奈川)や関係先を詐欺容疑で捜索。同社は昨年、木材や家畜のふんを燃やすなどして発電する「バイオマス発電事業」への融資の名目で、静岡県内の信用金庫に虚偽の書類を提出。約4億円を詐取した疑いがもたれている。特捜部は融資金が事業以外

に流用された疑いがあるとみて、押収した資料の分析を進める  
【読売新聞：2021/04/29】

<https://www.yomiuri.co.jp/national/20210428-OYT1T50272/>

■(株)エンバイオ・ホールディングス(東京)、海外特化型脱炭素エネルギーファンド「Japan Energy ファンド」の第一号ファンド「Japan Energy Capital 1号ファンド」に出資し、参画へ。同ファンドはENECHANGE(株)(東京)が、(株)Loop(東京)と共同で2020年4月よりJapan Energy Capital合同会社を通じて運営。トルコとヨルダンにおける再生可能エネルギー事業(90%超)と、欧米エネルギー関連のベンチャー企業(10%未満)が投資対象。エンバイオ社は、ヨルダンにおいて太陽光発電事業、水資源開発事業、トルコにおいてバイオマスガス化発電事業の展開と開発をしており、同ファンドの取り組みがエンバイオ社の海外事業戦略と合致していることから今回の参画に至った。同ファンドは100百万USD規模に向けて拡大していくことを想定。運用期間は2029年12月まで【ENECHANGE(株)：2021/04/30】

<https://enechange.co.jp/news/press/jef-210430/>

■放置竹林などの竹を住宅建材やバイオマス発電に活用する熊本県南関町の民間ベンチャーグループ3社が大幅な債務超過に陥り、事業整理へ。3社は農家から竹を買い取って加工する「バンブーフロンティア(株)」(熊本県南関町、以下「BF」)、チップを固めて住宅建材を製造する「バンブーマテリアル(株)」(同、以下「BM」)、枝や葉などを燃やして電力や熱をBM社に供給する発電事業の「バンブーエナジー(株)」(同、以下「BE」)。事業は2015年から具体化。総事業費は約55億円。県内企業や個人、ファンド、関西電力(株)(大阪)等が出資し、NEDOも共同研究の助成金として約13億円を支出。南関町は竹の伐採や収集に協力し、税金の優遇措置をしている。同町に工場など11棟があり、2018年から順次試験稼働していた。事業の中核となるBM社の社長によると、2021年度に売上高30億円を見込んでいたが、導入した中国製設備の故障などで生産開始が2年遅れ、新型コロナウイルスの影響もあって本格稼働できず、資金不足に。BM社は全従業員15人を3月15日付で解雇したが、全員再就職の目途が立っており、BF社とBE社は事業譲渡を目指して交渉中【熊本日日新聞：2021/04/30、2021/03/31】

<https://kumanichi.com/articles/213785>

<https://kumanichi.com/articles/171487>

■ベトナムは2020年に、風力発電と太陽光発電分野の案件に74億USD(約8,000億円)を投じており、世界の再生可能エネルギー投資額ランキングでフランスとドイツを上回る順位の8位に。ベトナムは2045年までに、再生可能エネルギーの生産量を全エネルギー生産量の25~30%にすることを目標に掲げている。特に、風力発電と太陽光発電に対し優先的に投資を行う方針。この他、廃棄物発電とバイオマス発電への投資も奨励しており、今後再生可能エネルギー大国になる可能性がある」と評価されている【VIET JO：2021/05/06】

<https://www.viet-jo.com/news/economy/210504182200.html>

■福島県飯舘村、蕨平行政区に整備する木質バイオマス発電所の整備事業者「飯舘バイオパートナーズ(株)」(同村)が、同行政区と立地協定を締結。飯舘バイオパートナーズは2020年6月、(株)熊谷組(東京)、(株)神鋼環境ソリューション(兵庫)、東京電力ホールディングス(株)(東京)、東京パワーテクノロジー(株)(東京)の出資で設立。発電所の最大出力は7,500kWを想定、年間発電量は一般家庭約1万6,600世帯の年間消費電力相当。東北電力(株)(本店・宮城)に売電するほか、農業への熱利用等を検討。燃料にはバークを主体に地元間伐材等(合計約9.5万t/年)を調達。事業費は約100億円で、国の福島再生加速化交付金を活用する。発電所は、同行政区の除染で出た廃棄物用で、今年3月末に運転を終了した、環境省の仮設焼却炉跡地に整備されるため、バグフィルターを2台設置し、排ガス中の放射性物質濃度を常時監視して外部漏えいがないか確認する。有識者や近隣市町村などで構成する第三者委員会を施設稼働までに設置する予定で、放射性物質濃度の測定結果などの情報を積極的に公開していくとしている。2024年春の運開を目指す【福島民友新聞、福島民報：2021/05/07、東京電力ホールディングス(株)：2020/07/28】

<https://www.minyu-net.com/news/news/FM20210507-612658.php>

<https://www.minpo.jp/news/moredetail/2021050786252>

[https://www.tepco.co.jp/press/release/2020/1547330\\_8710.html](https://www.tepco.co.jp/press/release/2020/1547330_8710.html)

■製材最大手の中国木材(株)(広島)が5月7日、秋田県能代市の能代工業団地に新工場を建設するための協定を同市と締結。米代川流域の秋田杉を原材料に、住宅用構造材を生産。残材を活用して木質バイオマス発電も行う。同社は北米産のべ

イマツを中心に扱ってきたが、価格高騰などを背景に近年は国産材の比率を高めており、昨年 11 月から市側と協議を進めてきていた。同社は 22 年 1 月をめどに、秋田県の能代工業団地のうち約 27ha を取得する。新工場は約 10.3ha の製材エリアと約 16.7ha の加工・発電エリアからなる。木質バイオマス発電の発電能力は 1 万 kW 以下で、全量を東北電力（株）（本社・宮城）に売電する計画。新工場では地元から 140 人程度の雇用を含め約 180 人を想定。製材工場の本格運転開始は 2024 年 4 月の見込み。総投資予定額は約 200 億円【秋田魁新報：2021/05/08、日本経済新聞：2021/05/07】

<https://www.sakigake.jp/news/article/20210508AK0009/>  
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC031XZ0T00C21A500000/>

■テスナエナジー（株）（東京）、4 月 28 日に東京地裁より破産手続き開始決定。同社は 2014 年 5 月に設立。木質バイオマス発電プラントの企画・設計・施工のほか、焼却炉企画・設計、その他コンサルを手がけていた。木くずを 1,200℃前後で炭化した後に炭と水蒸気を反応させて水素ガスを発生させ、その水素ガス中の水素と空気で水素ガスエンジンを駆動して発電する木質バイオマスのガス化発電事業が主力業務。北海道石狩市内や山形エリアでの発電所竣工の遅延などで建築費用が膨らみ、2019 年 2 月 6 日には同社が手がけていた山形県上市市内のバイオマス発電会社の発電プラントで試験運転中に負傷者 1 名を出す爆発事故が発生するなどし、資金繰りが悪化して今回の措置に。負債は債権者約 42 名に対し約 14 億 6,100 万円【Yahoo! JAPAN ニュース：2021/05/10】

<https://news.yahoo.co.jp/articles/9902cfa9ecec9d130cc9fcc1d0b17e5c5f32fa8f>

■日本林業調査会（東京）、電子書籍「森林を活かす自治体戦略」の販売（配信）を開始。同書は紙媒体の書籍としては既に 3 月 5 日に発刊済み。全国の約 30 市町村への現地調査をもとに、其々の森林行政の取り組みや挑戦を紹介。「木質バイオマス活用と市町村」の項では、岩手県の花巻市と遠野市、長野県塩尻市の事例が紹介されている。「森林環境譲与税などの有効活用に向けて必読の 1 冊」。電子版、紙媒体とも注文は下記サイトを参照【日本林業調査会：2021/05/11】

<https://www.j-fic.com/bd/isbn/9784889652659/>

■南カリフォルニア大学リグレー環境研究所の研究チームが大型海藻類の新しい養殖技術を開発し、従来の約 4 倍のバイオマスを産出したと発表。食用作物との競合がなくバイオ燃料の原料として魅力的だが、大型海藻が息する浅い水深では肥料となる栄養塩に限られており、大規模な栽培が難しい。そこで研究チームは「海藻エレベーター」を使って、夜間は栄養価の高い水深に大型海藻を沈め、日中は太陽の光が当たる浅い水深に引き上げる養殖技術を開発。実験では、コンブ科の巨大な海藻「オオウキモ」を海藻エレベーターに載せ、夜間は水深 80m に沈め、日中は水深 9m まで引き上げながら 90 日間栽培したところ、重量で 4 倍以上（従来比）のバイオマスを生産することができた。研究の詳細は、『Renewable and Sustainable Energy Reviews.』誌に 2021 年 2 月 19 日付でオンライン公開されている【fabcross：2021/05/11】

[https://fabcross.jp/news/2021/20210511\\_biomass-production.html](https://fabcross.jp/news/2021/20210511_biomass-production.html)

■中部電力（株）（愛知）と三菱 HC キャピタル（株）（東京）は、（株）佐合木材（岐阜県美濃加茂市）が設立した「合同会社美濃加茂バイオマス発電所」（以下「事業会社」）への出資および「美濃加茂バイオマス発電所」の開発に合意。同事業会社は美濃加茂市と公害防止協定を締結（5 月 12 日）。同事業は、岐阜県美濃加茂市において発電出力 7,100kW、想定年間発電電力量が約 5,000 万 kWh（一般家庭約 1.6 万世帯分相当）の木質専焼のバイオマス発電所を建設、運営するもの。燃料には主に岐阜県産の未利用間伐材等（木質チップ）を使用。融資契約先は（株）十六銀行（岐阜）、（株）大垣共立銀行（岐阜）。2022 年 1 月本工事開始、2023 年 10 月運転予定【中部電力（株）：2021/05/12】

[https://www.chuden.co.jp/publicity/press/1206431\\_3273.html](https://www.chuden.co.jp/publicity/press/1206431_3273.html)

■もみ殻、枝などが原料のバイオ炭で温暖化防止。バイオ炭にして農地に埋めることで、光合成によって大気中の CO<sub>2</sub> を吸収、蓄積した植物が分解されて土に戻る時に CO<sub>2</sub> を放出するのを防ぎ、水性や保肥性を高める土壌改良剤としても活用が可能に。昨年 J-クレジット制度の対象になり、国内では一社日本クルベジ協会（大阪）が普及に動く。全国から取り組み農家を募って数字を積み上げ、今秋にも J-クレジット制度の認証を取得。既に野菜や果樹、米などの農家が参加し、まずは 200t/年の CO<sub>2</sub> 削減（炭換算で約 120t）を目指す。同協

会は「“CO<sub>2</sub>削減農産物”といった付加価値販売も進め、採算の取れる取り組みモデルを構築していきたい」と意気込む。農水省が5月12日に策定した「みどりの食料システム戦略」においても、「期待される取組・技術」の一つとして挙げられている【日本農業新聞：2021/05/16、農水省：

2021/05/12】

<https://www.agrinews.co.jp/p54266.html>

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/index.html>

■木材や家畜のふんを燃やすなどして発電するバイオマス発電事業への融資の名目で静岡県内の信用金庫から約4億円を詐取した疑いで東京地検特捜部の捜索を受けていた(株)テクノシステム(神奈川)が、倒産。電力買い取り価格の低下に比例する形で粗利益率が低下、発電用地の先行取得に伴う年商規模の借り入れ負担も重荷に。多数の取引金融機関から資金調達して繰り回していたが、次第に資金繰りに支障を来すようになり、2020年以降、取引先への支払遅延や返還金請求訴訟が散発。内部体制の不備もあって、資金調達が限界に達し倒産となった。負債は約150億円(うち金融債務は約90億円)の見込み。5月17日までに事後処理を弁護士に一任し、法的申請の準備に入った。6月上旬をメドに、東京地裁へ民事再生法の適用を申請する意向【帝国データバンク：

2021/05/17】

<https://www.tdb.co.jp/tosan/syosai/4792.html>

■林野庁が設置していた「木材需給会議」が令和3年3月25日を最終回とし、「主要木材の需給見通し」の策定も今回で終了に。1975年に木材需給対策中央協議会の予測部会として発足し、四半期毎に主要木材の需給見通しなどを行ってきた。毎回の木材需給会議配布資料には「木質バイオマスの動向に関する資料」も含まれていた。今後は輸入材等に関する情報を引き続き共有するため、木材需給会議の一部の委員が林野庁が別途開催している「国産材中央需給情報連絡協議会」の新たな構成員として参加する【日本林業調査会：2021/05/18、林野庁：

2021/03/25】

<https://www.jfic.com/%e3%80%8c%e6%9c%a8%e6%9d%90%e9%9c%80%e7%b5%a6%e4%bc%9a%e8%ad%b0%e3%80%8d%e3%81%8c46%e5%b9%b4%e3%81%ae%e6%ad%b4%e5%8f%b2%e3%81%ab%e5%b9%95%e3%82>

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/jyukyuu/210325.html#1-2%E4%B8%BB%E8%A6%81%E6%9C%A8%E6%9D%90%E3%81%AE%E9%9C%80%E7%B5%A6%E8%A6%8B%E9%80%9A%E3%81%97>

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/jyukyuu/210325.html#1-2%E4%B8%BB%E8%A6%81%E6%9C%A8%E6%9D%90%E3%81%AE%E9%9C%80%E7%B5%A6%E8%A6%8B%E9%80%9A%E3%81%97>

■スターバックスコーヒー ジャパン、10月末に全国の直営350店の電力を100%再生可能エネルギーに切り替え。4月末には既に直営店301店舗(北海道、東北、沖縄を除く)で完了済み。電力の供給先は環境に配慮した発電方法、地域の雇用の創出、地域課題の解決につながる活動を実施している電力といった点を重視。徳島県徳島市の「徳島沖浜店」では、みんな電力(株)(東京)を通じて、徳島県小松島市にある(株)ゲンボク(徳島)が運営する「GBバイオマス発電所(発電出力：250kW)」から木質バイオマス発電による電力を調達。スターバックスは今後、直接契約ではない商業施設などに入居している店舗でも、電力の部分購入や非化石証書などで施設と連携して再生可能エネルギーの導入を模索していく【流通ニュース：2021/05/18】

<https://www.ryutsuu.biz/strategy/n051874.html>

■ENEOSバイオマスパワー室蘭合同会社(北海道)、5月21日から室蘭バイオマス発電所で初の定期点検工事。同発電所は出力7万4,900kWで、国内最大規模のPKS専焼発電所。昨年5月から商業運転を開始。燃料のPKSは東南アジアから輸入。合同会社はENEOS(株)(東京)と日揮ホールディングス(株)(神奈川)が出資。点検工事の期間は6月中旬までの約1カ月で、ピーク時には約150人/日の作業員が入る計画【北海道新聞：2021/05/20】

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/545747/>

■NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク(千葉)、インターネットサイト版「バイオマス白書2021サイト版(本編)」が完成。トピックス「FITバイオマス発電をめぐる変化」、「再生可能エネルギー熱普及に向けて」の他、2020年の国際・国内動向などについて詳しくまとめている。サイト版本編の詳細および小冊子注文については下記サイトを参照【NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク：2021/5月】

<https://www.npobin.net/>

## 2. ペレット関連情報

■商船三井ドライバルク（株）（東京）、今夏の運転開始を目指す沖縄最大のバイオマス専焼発電所「中城バイオマス発電所」（沖縄）初の主燃料調達となるインドネシア積み PKS の揚げ荷役を完了。同発電所はイーレックス（株）（東京）を筆頭株主とし、九電みらいエナジー（株）（福岡）、トーヨーカネツ（株）（東京）、沖縄ガス（株）（沖縄）、（株）九電工（福岡）、東京ガスエンジニアリングソリューションズ（株）（東京）、および沖縄県内地元企業等の合計 11 社の共同出資により 2017 年 7 月に設立した「沖縄うるまニューエナジー（株）」（沖縄）が、沖縄県うるま市中城湾港新港地区工業団地内に建設しているもの。定格出力は 49,000 kW、年間発電量は約 350,000 MWh（一般家庭約 11 万世帯分の年間消費電力相当）。燃料には PKS のほか、木質ペレットを約 20～25 万 t/年使用する計画。営業運転は 2021 年 7 月末開始予定【日本海事新聞：2021/04/21、イーレックス（株）：2019/05/30】

<https://www.jmd.co.jp/article.php?no=266824>

<http://www.erec.co.jp/news/pressrelease/376/>

■東北電力（株）（宮城）、（株）オリンピア（東京）が設立した「鳥海南バイオマスパワー（株）」（山形）に出資し、オリンピアおよび静岡ガス&パワー（株）（静岡）と共同でバイオマス発電事業に参画すると発表（4 月 21 日）。同事業は山形県飽海郡遊佐町（あくみぐんゆざまち）に、東南アジアや北米から輸入した木質ペレット、PKS を燃料とする出力規模 52,900kW（12 万世帯分）のバイオマス発電設備「鳥海南バイオマス発電所」を建設・運営するもの。電気は FIT に基づき、東北電力ネットワークに売却する。9 月に着工し、2024 年 10 月運転開始予定。東北電力、静岡ガスグループ共、バイオマス専焼発電事業に取り組むのは今回が初【日本経済新聞、東北電力（株）：2021/04/21、朝日新聞：2021/05/10】

[https://www.nikkei.com/nkd/industry/article/?DisplayType=1&n\\_m\\_code=081&ng=DGXZQOCC215Q20R20C21A4000000](https://www.nikkei.com/nkd/industry/article/?DisplayType=1&n_m_code=081&ng=DGXZQOCC215Q20R20C21A4000000)

<https://www.tohoku->

[epco.co.jp/news/normal/1219733\\_2558.html](epco.co.jp/news/normal/1219733_2558.html)

<https://www.asahi.com/articles/ASP596T1SP4PUZHB009.html>

■静岡県小山町の池谷晴一町長が、4 月 22 日に開催した町議会臨時会で、2020 年 7 月の火災により稼働停止している「森

の金太郎発電所」（同町）について、民間との共同や民間委託を検討する考えを明らかに。火災で損傷した発電所の復旧工事請負契約締結案など 6 議案が原案通り可決、承認された。同発電所は 2018 年 9 月に稼働開始。出力 165kW という小規模ながら、発電効率は 30%以上も可能なことが特徴。将来的に排熱を有効活用することを視野に入れつつ、まずは FIT を利用した売電だけの事業モデルでスタートした。ドイツのブルクハルト社製のバイオマス発電設備を導入しており、地域から出る未利用の間伐材で製造した木質ペレットを燃料とし、可燃ガス（水素、一酸化炭素など）を生成する「ガス化ユニット」と、そのガスを燃料に発電と熱供給を行う「熱電併給ユニット」で構成される。火災が発生したのは 2020 年 7 月 4 日。壁際にあった飛灰を投入する容器から出火し、壁と屋根の太陽光パネルの一部まで延焼した時点で鎮火。建屋内部にあるガス化ユニットや熱電併給ユニットなどの設備に損傷はなかった。発電所は今年 10 月頃に暫定再稼働し、2022 年度末までに 2023 年度以降の継続の可否を判断する。発電の過程で発生する熱を売る「売熱」の実現が事業継続の鍵とされ、熱の供給先の決定に向けて近隣事業者と協議している【あなたの静岡新聞：2021/04/23、メガソーラービジネス：2021/01/28】

<https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/891819.html>

<https://project.nikkeibp.co.jp/ms/atcl/19/feature/00002/00061/?ST=msb>

■国際環境 NGO FoE Japan（東京）、バイオマス混焼の石炭火力発電の増加に強い懸念を示す声明発表。国内でバイオマス混焼の石炭火力発電所が増加していることについて「石炭火力発電を延命させ、温室効果ガス（GHG）の排出を増加させるとともに、森林生態系破壊の原因にもなる」としている。声明ではバイオマス燃料の多くが輸入に頼っていること、木質ペレットを生産するために北米の天然林が皆伐されるケースが報告されていることを指摘。石炭火力発電の維持・延命のためにバイオマス混焼が使われていると非難し、既存・新設にかかわらず、直ちに FIT の対象から石炭火力発電のバイオマス混焼を外すとともに、バイオマス混焼の石炭火力に対する優遇や例外扱いの中止を求めている【国際環境 NGO FoE Japan：2021/04/27】

<https://www.foejapan.org/forest/biofuel/210427.html>

■兵庫県、バイオマス活用推進のため広く県民、事業者等に対し最新の情報を提供する機会として、事例発表及び講演による「バイオマス活用推進大会」をオンラインで開催(4月26日)。人と自然を新しい資源循環でつなぐ「地エネの酒 for SDGs プロジェクト」のセミナーがあり、家畜ふん尿などをエネルギーとして活用する過程で発生する副産物(消化液)を肥料に栽培した山田錦(酒米)とこれを原料に日本酒を醸造する取組が紹介された。その他、弓削牧場(神戸市)のバイオガスの熱利用やマルヤナギ小倉屋(同市)のメタンガス発電、しその森の木(宍粟市)の地域産木材のオガ粉によるペレット製造・ペレットストーブ普及事業についての事例発表も実施。マルヤナギ小倉屋としその森の木は、県がバイオマス利用の普及に向け登録制度を設けている「ひょうごバイオマス eco モデル」の2020年度登録事例にも選ばれている【ひょうご経済プラス；2021/04/28、兵庫県：2021/04/14、2021/04/16】

<https://www.kobe->

[np.co.jp/news/keizai/202104/0014280209.shtml](http://np.co.jp/news/keizai/202104/0014280209.shtml)

[http://web.pref.hyogo.lg.jp/press/20210414\\_7497.html](http://web.pref.hyogo.lg.jp/press/20210414_7497.html)

[https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk06/eco\\_koremade.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk06/eco_koremade.html)

■郵船出光グリーンソリューションズ(株)(東京)が、北陸電力(株)(富山)から大型発電設備である超臨界圧変圧貫流ボイラー向けに「ULTY-V plus」(アルティ ヴィ プラス)を4基同時受注したと発表。同社は出光興産(株)(東京)が日本郵船グループと出資し、国内および中国・台湾・ベトナムなどへの「ULTY-V plus」販売強化を目的として2019年3月に設立した会社。「ULTY-V plus」は、AIを活用することで、燃料投入量調整や蒸気圧力調整などの一連の動作を「自己計測」、「自己分析」、「自己判断」で行う完全自己完結型制御システム。発電所や工場で使用されるボイラーに装備することで、最適な運転を実現する。今回の導入により燃料使用量が削減され、CO<sub>2</sub>排出量は4基合計で約10万t/年の低減となる見込み。近年はバイオマス発電用ボイラーにおいても導入実績を伸ばしている。出光興産と郵船出光グリーンソリューションズは、石炭とブラックペレット混焼時においても燃焼最適化を実現し効率改善ができる機能を「ULTY-V plus」に追加する技術開発を進め、低炭素社会に向けた製品づくりを推進する【PR TIMES：2021/04/28】  
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000293.000023740.html>

■北海道十勝郡浦幌町にある浦幌神社が、5月1日より十勝のじゃがいもをモチーフにしたユニークなおみくじ「やるなら今(いも)じゃがみくじ」(えぞみくじ)を出したと発表。「えぞみくじ」とは、北海道内で各神社が出すご当地おみくじで、張り子でつくられた特産品の中におみくじが入っているもの。おみくじの引き方は土の代わりに地元の木質ペレットを使用した小さな畑の中にあるじゃがいもみくじをスコップで掘り起こし、収穫する方法と、ふかしいものように蒸籠に並べたじゃがいもおみくじをトングで引く方法の二種類。ネーミングの「やるなら今(いも)じゃが」には、コロナ禍でも「今」を大切に前向きに進もうという願いが込められており、おみくじの内容は「なまら〜っしょ」や「〜だべさ」などの北海道弁の前向きなメッセージを記載【まいぶれ：2021/05/02】

<https://tokachi.mypl.net/shop/00000362911/news?d=1985928>

■バイオマス・フューエル(株)(東京)がバイオマス燃料の国際的認証つぎつぎ取得。まず2月中旬に木質ペレットの原料供給網強化の一環として、(一財)日本ガス機器検査協会(東京)による新規原料サプライヤーの追加監査を受け、3月15日に同社と同社ベトナム現地法人のBIOMASS FUEL VIETNAM CO., LTD.(以下、「BMFV」とともに(2019年10月7日に取得済だった)「発電利用に供する木質バイオマスの証明に係る事業者認定書」を更新。続けて4月9日付けでBMFVが、持続可能な森林活用・保全を目的として誕生したFSC(Forest Stewardship Council)について、管理木材である事の証明CW(Controlled Wood)と加工・流通過程の管理証明CoC(Chain of Custody)の認証を取得。さらに4月22日にもBMFVが、持続可能なバイオマスプログラムを世界基準で証明するSBP(Sustainable Biomass Program)の認定を取得したと発表。SBPは、特にウッドチップやウッドペレットがEUの持続可能性基準に適合するかを証明するもの。森林認証と異なり工場中心のフレームワークを採用し、GHG排出量計算など森林認証には無い要求基準を求められることから、世界各国で徐々に広がりつつあるとのこと【OSR No.466：2021/05/05、バイオマス・フューエル(株)：2021/04/23、2021/05/11】

[http://www.biomassfuel.co.jp/file/210423\\_JIA.pdf](http://www.biomassfuel.co.jp/file/210423_JIA.pdf)

[http://www.biomassfuel.co.jp/file/210423\\_FSC-CW-COC.pdf](http://www.biomassfuel.co.jp/file/210423_FSC-CW-COC.pdf)

[http://www.biomassfuel.co.jp/file/210511\\_SBP\\_SBP.pdf](http://www.biomassfuel.co.jp/file/210511_SBP_SBP.pdf)

■米国ジョージア州ブルズウィック港にある木質ペレット保管倉庫で5月2日、火災が発生。倉庫はカナダの企業 Logistec Corp.が所有するもので、街区よりも広く、関係者によると約2万5,000tのペレットが焼失したもよう。同州グリーン郡緊急事態管理局長は、「炎はおそらく木質ペレットの巨大な山の中に蓄積された熱による自然発火の結果である」と語っている。同倉庫は欧州の発電所向けペレットを保管しており、アジア向けの供給にいまのところ支障はないとみられている。ただ、欧州向けの確保がタイトになった場合、アジア向けにも間接的に影響が広がるとの指摘も聞かれた。焼失した倉庫は、2015年7月に木質ペレットの火災で焼失した2つの建物に替わって建設されたものだった【リム情報開発(株)：2021/05/10、U.S.News：2021/05/03】

<https://www.rim-intelligence.co.jp/news/rre/1684067.html>

<https://www.usnews.com/news/best-states/georgia/articles/2021-05-03/warehouse-fire-is-being-fed-by-wood-pellets-at-georgia-port>

■電源開発(株)(東京、以下「Jパワー」)、2019年2月に出资したGreen Earth Institute(株)(東京、以下「GEI社」と共同でマレーシアにおけるオイルパーム廃木を活用したバイオマス燃料および化学品製造の複合事業の検討を開始。オイルパーム廃木は水分や糖分を多く含み不適切に処理を行うと温室効果ガス、病害虫の発生等を誘発するため適切な利活用が課題。Jパワーは現在マレーシアのプランテーション企業と協力し、オイルパーム廃木の搾汁液をGEI社固有のバイオリファイナリ

ー技術により化学品にアップサイクルし、搾汁後の残渣をペレット化してバイオマス燃料として利用する複合事業を検討している。さらに将来的には、老朽化した石炭火力発電所に新技術を付加することで水素発電へ価値変換するアップサイクル等、Jパワーが培ってきたガス化技術を用いてカーボンニュートラルと水素社会を実現する“J-POWER GENESIS”プロジェクトとのコラボレーションを推進。バイオマス燃料の混焼によるサーキュラーエコノミーの実現を目指す【Jパワー：2021/05/11】

[https://www.jpowers.co.jp/news\\_release/2021/05/news210511.html](https://www.jpowers.co.jp/news_release/2021/05/news210511.html)

■国際環境NGO FoE Japan(東京)、レポート「バイオマス発電は環境にやさしいか? “カーボン・ニュートラルのまやかし”」を発行。レポートは、日本におけるバイオマス発電の現状、FIT制度の問題点、バイオマスカーボン・ニュートラルとみなすことができない理由、さまざまな認証制度の概要とその脆弱性、日本が多くの燃料を輸入しているベトナム、インドネシア、マレーシア、カナダ、アメリカなどの現場で起きている環境社会問題などについて、最新の情報を調査・分析したもの。下記サイトより閲覧可【国際環境NGO FoE Japan：2021/05/14】

<https://www.foejapan.org/forest/biofuel/210514.html>

※OSR:バイオマス・再エネ等の専門情報誌「オンサイト・レポート」の略

### 3. イベント情報(国内)

※本メールニュースに掲載のイベントは情報として紹介しているもので、参加を推奨するものではありません。  
※新型コロナウイルスの影響により、イベント、展示会で急遽中止や延期を決定される場合があります。開催の有無については各ウェブサイト等で最新情報を確認するようにしてください。

◎：木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

■(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)「気候変動ウェビナーシリーズ 再エネ100%シナリオは本当に『現実的ではない』のか?」

2021年6月9日(水)

オンライン

<https://www.iges.or.jp/jp/events/20210609>

■(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)「気候変動ウェビナーシリーズ G7 気候・環境大臣会合の結果について」

2021年6月10日(木)

オンライン

<https://www.iges.or.jp/jp/events/20210610>

■NPO 法人農都会議「2021 年度総会記念講演会 再生可能エネルギー／ソーラーシェアリングを活用したふくしまの農業・農村復興」  
2021 年 6 月 14 日（月）  
オンライン  
<https://blog.canpan.info/bioenergy/archive/345>

■NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク（BIN）第 195 回研究会「2020-2021 年のバイオマス利用の最新動向」  
2021 年 6 月 19 日（土）  
ZOOM オンライン開催  
<https://www.npobin.net/apply/>

■（株）新社会システム総合研究所「カーボンプライシングとは何か」  
2021 年 6 月 25 日（金）  
ライブ配信（Zoom）／アーカイブ配信  
<https://www.ssk21.co.jp/S0000103.php?gpage=21252>

■国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所「森林産業コミュニティ・ネットワーク（FICoN）第 1 回ウェブ検討会 ～金融の視点から見た森林産業の課題と展望～」  
2021 年 6 月 29 日（火）  
Microsoft Teams によるウェブ形式  
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2021/20210629ficon/index.html>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek 内バイオマス展」【関西展】  
2021 年 9 月 29 日（水）～10 月 1 日（金）  
インテックス大阪（大阪府大阪市）  
<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

■第 44 回全国育樹祭北海道実行委員会「第 44 回全国育樹祭」  
2021 年 10 月 9 日（土）～10 月 10 日（日）  
北海道苫小牧市  
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/zij/index.htm>

■（一社）林業機械化協会「2021 森林・林業・環境機械展示実演会」  
2021 年 10 月 10 日（日）～11 日（月）  
北海道苫小牧市  
<https://www.rinkikyo.or.jp/>

■第 23 回エコプロ 2021  
2021 年 12 月 8 日（水）～10 日（金）  
東京ビッグサイト東ホール（東京都江東区）  
<https://eco-pro.com/eco2021/>

■再生可能エネルギー協議会「第 16 回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム」  
2022 年 1 月 26 日（水）～28 日（金）  
東京ビッグサイト東ホール&会議棟（東京都江東区）  
<https://www.renewableenergy.jp/2022/jp/>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek 内バイオマス展」【東京展】  
2022 年 3 月 2 日（水）～4 日（金）  
東京ビッグサイト（東京都江東区）  
<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek 内バイオマス展」【関西展】  
2022 年 9 月 28 日（水）～30 日（金）  
インテックス大阪（大阪府大阪市）  
<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek 内バイオマス展」【東京展】  
2023 年 3 月 1 日（水）～3 日（金）  
東京ビッグサイト（東京都江東区）  
<https://www.bm-expo.jp/>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek 内バイオマス展」【関西展】  
2023 年 9 月 27 日（水）～29 日（金）  
インテックス大阪（大阪府大阪市）  
<https://www.bm-expo.jp/>

#### 4. イベント情報 (海外)

##### ■Expo Biogaz

2021年6月2日(水)～3日(木)

メッス(フランス)

<https://www.expo-biogaz.com/en>

##### ■Future of BIOFUELS

2021年6月8日(火)

バーチャルイベント

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=WEB210530>  
&

##### ■Greening Energy in Rural Areas Through the Valorisation of Agricultural Residues

2021年6月11日(金)

オンライン

<https://bioenergyeurope.org/events/11-events/229-greening-energy-in-rural-areas-through-the-valorisation-of-agricultural-residues.html>

##### ◎13th Biofuels International Conference & Expo

2021年6月15日(火)～16日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

[https://www.biofuels-news.com/conference/biofuels/biofuels\\_index\\_2021.php](https://www.biofuels-news.com/conference/biofuels/biofuels_index_2021.php)

##### ◎International Biomass CONGRESS & EXPO

2021年6月15日(火)～16日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

[https://www.biofuels-news.com/conference/biofuels/biofuels\\_index\\_2021.php](https://www.biofuels-news.com/conference/biofuels/biofuels_index_2021.php)

##### ■International Biogas Congress & Expo

2021年6月15日(火)～16日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

[https://www.biofuels-news.com/conference/biofuels/biofuels\\_index\\_2021.php](https://www.biofuels-news.com/conference/biofuels/biofuels_index_2021.php)

##### ■World Sustainable Energy Days

2021年6月21日(月)～25日(金)

ヴェルス(オーストリア)/オンライン

<https://www.wsed.at/>

##### ◎European Pellet Conference 2021

2021年6月22日(火)

ヴェルス(オーストリア)/オンライン

<https://www.wsed.at/european-pellet-conference>

##### ■Biogas North America 2021 Forum - 3rd edition

2021年6月22日(火)

バーチャル

<https://www.biogas-usa.com/>

##### ■bio360

2021年6月30日(水)～7月1日(木)

ブルターニュ地方ルティエ(フランス)

<https://www.bio-360.com/en/>

##### ■BIOFUELS & TRANSPORT DECARBONIZATION

2021年6月30日(水)

バーチャル会議

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=WEB210531>  
&

##### ■The 10th Asia-Pacific Biomass Energy Exhibition (APBE2021)

2021年8月16日(月)～18日(水)

広州市(中国)

<http://www.apbechina.com/alone/alone.php?id=18>

##### ■ALL-ENERGY Exhibition and Conference 2021

2021年8月18日(水)～19日(木)

グラスゴー(イギリス)

<https://www.all-energy.co.uk/en-gb.html>

■3rd European Conference / Biogas & Biogas Upgrading Biogas PowerON

2021年9月1日(木)

コペンハーゲン(デンマーク)

<https://fortesmedia.com/biogas-poweron-2021,4,en,2,1,14.html>

■Ecpo Biogaz

2021年9月1日(木)～2日(金)

メッス(フランス)

<https://www.expo-biogaz.com/en>

■Svevio Fuel Market Day

2021年9月9日(木)

オンライン/ストックホルム(スウェーデン)

<https://www.svebio.se/en/evenemang/svebio-fuel-market-day-2/>

■3rd European Conference / Trade & Power Biomass PowerON 2021

2021年9月15日(水)～16日(木)

コペンハーゲン(デンマーク)

<https://fortesmedia.com/biomass-poweron-2021,4,en,2,1,12.html>

■Wood Energy Conference 2021

2021年9月20日～23日

デジタル会議

<https://www.fachkongress-holzenergie.de/en>

◎Advanced Biofuel Conference 2021

2021年9月21日(火)～23日(木)

オンライン/ストックホルム(スウェーデン)

<https://www.svebio.se/en/evenemang/advanced-biofuels-conference-2021/>

■EXPO BIOMASA 2021

2021年9月21日(火)～23日(木)

バリャドリッド(スペイン)

<https://www.expobiomasa.com/en/salon-gas-renovable>

■RWM & Future Resource 2021

2021年9月22日(水)～23日(木)

バーミンガム(UK)

<https://www.rwmexhibition.com/>

■Progress in Biogas V

2021年9月22日(水)～24日(金)

オンライン会議

<https://ibbk-biogaz.com/schedule/progress-in-biogaz/>

■13th Biofuels International Conference & Expo

2021年10月19日(火)～20日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

[https://www.biofuels-news.com/conference/biofuels/biofuels\\_index\\_2021.php](https://www.biofuels-news.com/conference/biofuels/biofuels_index_2021.php)

■International Biomass Congress & Expo

2021年10月19日(火)～20日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

[https://www.bioenergy-news.com/conference/biomass/biomass\\_index\\_2021.php](https://www.bioenergy-news.com/conference/biomass/biomass_index_2021.php)

■International Biogas Congress & Expo

2021年10月19日(火)～20日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

[https://www.bioenergy-news.com/conference/biogaz/biogaz\\_index\\_2021.php](https://www.bioenergy-news.com/conference/biogaz/biogaz_index_2021.php)

■POWERGEN INDIA

2021年10月27日(水)～29日(金)

ニューデリー(インド)

<https://www.powergen-india.com/>

■17th Carbon Dioxide Utilisation Summit

2021年10月27日(水)～28日(木)

ブリュッセル(ベルギー)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/co2/>

■COP26

2021年11月1日(月)～12日(金)

グラスゴー(UK)

<https://ukcop26.org/>

◎European Biomass to Power Conference

2021年11月17日(木)～18日(金)

マンチェスター(UK)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/european-biomass-to-power/>

■Future of Biogas Europe 2021

2021年11月24日(水)～25日(木)

ベルリン(ドイツ)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/future-biogas-europe/>

■IEA Bioenergy Conference 2021

2021年11月28日(日)～12月9日(木)

オンラインセッション

<https://task40.ieabioenergy.com/>

■WOODEX

2021年11月30日(火)～12月3日(金)

モスクワ(ロシア)

<https://woodexpo.ru/Home>

■bio360

2022年1月26日(水)～27日(木)

ナンテ(フランス)

<https://www.bio-360.com/en/>

■Carrefour International du Bois

2022年6月1日(水)～3日(金)

ナンテ(フランス)

<https://www.timbershow.com/en/>

■Elmia Wood 2022

2022年6月2日(木)～4日(土)

ヴァガリード(スウェーデン)

<https://www.elmia.se/en/wood/>

■16th International Conference BIOMASS for ENERGY

2022年9月

キエフ(ウクライナ)

<https://uabioconf.org/en/>

5. 2021年度ペレットストーブ、ボイラ補助金情報(都道府県順)

※締切や公募の条件等の詳細は各自治体にお問い合わせください。

◇: ストーブ

◆: ストーブ・ボイラ共

【岩手県】

◇陸前高田市「陸前高田市新エネルギー設備導入促進事業」

<https://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/soshiki/2213.html>

【山形県】

◆大蔵村「木質バイオマス利用拡大支援事業」

<http://www.vill.ohkura.yamagata.jp/life/juuseikatsu->

[kankyou/wood-biomass/](http://kankyou/wood-biomass/)

◇尾花沢市「令和3年度尾花沢市再生可能エネルギー設備導入事業」

<http://www.city.obanazawa.yamagata.jp/10470.html>

◇金山町「金山町木質バイオマス利用拡大支援事業費補助金」

[https://www.town.kaneyama.yamagata.jp/shigoto\\_sangyo/ringyo/1141.html](https://www.town.kaneyama.yamagata.jp/shigoto_sangyo/ringyo/1141.html)

◇鮭川村「令和3年度鮭川村再生可能エネルギー設備導入事業」

<http://www.vill.sakegawa.yamagata.jp/topics/941>

◇白鷹町「令和3年度白鷹町再生可能エネルギー推進事業費補助金」

<http://www.town.shirataka.lg.jp/item/5379.html#itemid5379>

◇高島町「令和3年度高島町再生可能エネルギー設備導入事業費補助金」

<https://www.town.takahata.yamagata.jp/soshikiichiran/seikatsukankyoka/2/2/saiene.html>

◆長井市「令和3年度長井市再生可能エネルギー設備導入事業費補助金」

<https://www.city.nagai.yamagata.jp/soshiki/shimin/2/1/2/8342.html>

#### 【福島県】

◇福島県「令和3年度木質バイオマス利用ストーブ普及支援事業補助金」

<http://www.fmokuren.jp/publics/index/45/>

◆柳津町「令和3年度柳津町住宅用新エネルギー設備等設置費補助金」

[https://www.town.yanaizu.fukushima.jp/docs/2015021600069/file\\_contents/youshiki10.pdf](https://www.town.yanaizu.fukushima.jp/docs/2015021600069/file_contents/youshiki10.pdf)

#### 【茨木県】

◆大子町「薪ストーブ等設置費補助金」

<https://www.town.daigo.ibaraki.jp/page/page002843.html>

#### 【千葉県】

◆南房総市「南房総市施設園芸用木質バイオマス暖房機設置費等補助金」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>

※対象は薪ボイラ

#### 【東京都】

◇稲城市「令和3年度稲城市住宅用創エネルギー機器等導入促進事業補助金」

<http://www.city.inagi.tokyo.jp/kankyo/kankyoku/juutakuyousouen/ergy/soene.html>

◇羽村市「環境配慮事業助成制度」

<https://www.city.hamura.tokyo.jp/0000004638.html>

#### 【富山県】

◇立山町「立山町環境保全型住宅設備普及促進事業」

<https://www.town.tateyama.toyama.jp/pub/event-topics/svTopiDtl.aspx?servno=8779>

#### 【山梨県】

◇都留市「都留市自立型再生可能エネルギー設備普及促進事業補助金」

<https://www.city.tsuru.yamanashi.jp/shimin/gomi/5/9670.html>

◇富士吉田市「富士吉田市再生可能エネルギー設備設置費補助金」

<https://www.city.fujiyoshida.yamanashi.jp/Info/191>

#### 【長野県】

◇売木村「売木村薪ストーブ設置補助金」

[https://www.urugi.jp/d1w\\_reiki/H426902600003/H42690260003.html](https://www.urugi.jp/d1w_reiki/H426902600003/H42690260003.html)

※対象は薪ストーブ

◇北相木村「北相木村新エネルギー設備設置費補助金」

<http://vill.kitaaiki.nagano.jp/docs/380.html>

#### 【岐阜県】

◇白川村「薪ストーブ購入支援補助金」

<http://shirakawa-go.org/kurashi/seikatsu/9715/>

#### 【滋賀県】

◇米原市「びわ湖の素・米原 住宅リフォーム補助金」

[https://www.city.maibara.lg.jp/reiki/reiki\\_honbun/r108RG00001446.html#e000000150](https://www.city.maibara.lg.jp/reiki/reiki_honbun/r108RG00001446.html#e000000150)

#### 【京都府】

◆京丹波町「京丹波町薪ストーブ等購入補助金」

<https://www.town.kyotamba.kyoto.jp/0000002374.html>

※対象は薪ストーブおよび薪ボイラ

【兵庫県】

◇宍粟市「2021 年度宍粟市再生可能エネルギー利用促進事業  
木質バイオマスストーブ補助金」

[https://www.city.shiso.lg.jp/kurashi/gomishinyokankyo/kankyori  
saikuru/1515743499802.html](https://www.city.shiso.lg.jp/kurashi/gomishinyokankyo/kankyori<br/>saikuru/1515743499802.html)

◆豊岡市「2021 年度豊岡市木質バイオマス利用機器導入促進  
事業補助金」

[https://www.city.toyooka.lg.jp/kurashi/gomikankyo/kankyo/10  
00972/1016694.html](https://www.city.toyooka.lg.jp/kurashi/gomikankyo/kankyo/10<br/>00972/1016694.html)

◇兵庫県「西播磨木質バイオマス利用活動支援事業」

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/whk08/nishiharima-biomass.html>

【鳥取県】

◇琴浦町「令和3年度琴浦町家庭用発電導入推進補助金」

<https://www.town.kotoura.tottori.jp/docs/2019042200024/>

◇伯耆町「伯耆町家庭用発電設備等導入推進補助金」

<https://www.houki-town.jp/new1/10/12/c167/>

【島根県】

◆邑南町「おおなん未来につなぐ森づくり事業補助金」

[https://www.town.ohnan.lg.jp/www/contents/1618805076151  
/index.html](https://www.town.ohnan.lg.jp/www/contents/1618805076151<br/>/index.html)

【広島県】

◇安芸太田町「ペレットストーブ等購入促進制度」

<http://www.akiota.jp/sangyo/pellet-stove.html>

【香川県】

◇東かがわ市「住宅用クリーンエネルギー設備設置費補助金」

<https://www.higashikagawa.jp/itwinfo/i7896/index.shtml>

【福岡県】

◇大木町「令和3年度地球温暖化対策支援補助金」

<http://www.town.ooki.lg.jp/kankyo/9/4387.html>

6. 公募等情報（締切順）

■京都府「令和3年度京の森林文化を守り育てる支援事業」

募集期間 2021年4月2日（金）～6月11日（金）

<http://www.pref.kyoto.jp/shinrinhozen/moribunka.html>

2021年6月11日（金）

【上記以外の団体】

適宜受付（最終受付は2022年2月25日（金））

<https://www.green.or.jp/topics/fs2021/>

■長野県林務部信州の木活用課県産材利用推進室「令和3年度  
薪によるエネルギーの地消地産推進事業」

応募期間 2021年5月6日（木）～6月11日（金）

<https://www.pref.nagano.lg.jp/mokuzai/0408maki.html>

■（公社）国土緑化推進機構「令和3年度『森林サービス産業』  
モデル地域等の公募」

募集期限 2021年6月11日（金）

<https://www.green.or.jp/topics/fs2021/>

■新潟県「令和3年度新潟県再生可能エネルギー設備導入促進  
事業補助金」

提出期限 2021年4月12日（月）～6月11日（金）

[https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/sogyosuishin/13569159351  
43.html](https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/sogyosuishin/13569159351<br/>43.html)

■（公社）国土緑化推進機構「令和3年度『森林サービス産業』  
パートナーの公募」

募集期限 適宜受付（最終受付は2022年2月25日（金））

<https://www.green.or.jp/topics/fs2021/>

■（公社）国土緑化推進機構「令和3年度『森林サービス産業』  
推進地域の公募」

提出期限 【モデル地域・準モデル地域に応募する団体】

■（一社）環境技術普及促進協会「離島における再エネ主力化  
に向けた運転制御設備導入構築事業」

公募期間 1次 2021年5月17日（月）～6月16日（水）

2次 2021年6月23日（水）～7月20日（火）

[http://www.eta.or.jp/offering/21\\_03\\_ritou/210517.php](http://www.eta.or.jp/offering/21_03_ritou/210517.php)

■（一社）環境技術普及促進協会「令和3年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(PPA 活用など再エネ価格低減等を通じた地域の再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業)公共施設の設備制御による地域内再エネ活用モデル構築事業に係る公募のお知らせ」

公募期間 2021年5月17日(月)～6月17日(木)

[http://www.eta.or.jp/offering/21\\_04\\_kokyo/210517.php](http://www.eta.or.jp/offering/21_04_kokyo/210517.php)

■（一財）省エネルギーセンター「2021年度(令和3年度)省エネ大賞募集開始のご案内」

募集期間 2021年4月6日(火)～6月24日(木)

<https://www.eccj.or.jp/bigaward/start21/index.html>

■環境省「令和3年度脱炭素化・先導的廃棄物処理システム実証事業の一次公募について」

公募期間 2021年5月25日(火)～6月25日(金)

<https://www.env.go.jp/press/109614.html>

■農林中央金庫「『農中森力基金』第8回助成事業の募集について」

募集期間 2021年4月1日(木)～6月30日(水)

[https://www.nochubank.or.jp/news/news\\_release/2021/post-617.html](https://www.nochubank.or.jp/news/news_release/2021/post-617.html)

■JT「SDGs 貢献プロジェクト」

申請期間 2021年6月1日(火)～6月30日(水)

<https://www.philanthropy.or.jp/jt/>

■（一社）農林水産業みらい基金「農林水産業みらいプロジェクト 2021年度助成事業」

申請期間 2021年5月11日(火)～6月30日(水)

<http://www.miraikikin.org/>

■（一社）日本機械工業連合会「令和3年度の優秀省エネ脱炭素機器・システム表彰の募集」

募集期間 2021年5月10日(月)～6月30日(水)

<http://www.jmf.or.jp/commendations/1/2357.html>

■沖縄県「おきなわ型省エネ設備等普及事業補助金」

募集期間 2021年4月20日(火)～7月7日(水)

[https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/saisei/20190807\\_oki](https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/saisei/20190807_oki)

[nawagata\\_eco.html](http://nawagata_eco.html)

■エコプロ主催者事務局「第23回エコプロ2021出展者募集」

申込締切 2021年7月9日(金)

<https://eco-pro.com/eco2021/exhibit/>

■（一財）新エネルギー財団「令和3年度『新エネ大賞』の募集開始」

募集期間：2021年5月10日(月)～7月9日(金)

[https://www.nef.or.jp/award/boshu/boshu\\_r03.html](https://www.nef.or.jp/award/boshu/boshu_r03.html)

■北海道「エネルギー地産地消事業化モデル支援事業(新エネ有効活用モデル)」

公募期間：2021年5月24日(月)～7月14日(水)

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/emodel-yukokatsuyo.htm>

■北海道「『ゼロカーボン北海道』貢献への新エネ導入支援事業新エネルギー設計支援事業」

公募期間 2021年5月24日(月)～7月14日(水)

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/sekkeishien.htm>

■北海道「『ゼロカーボン北海道』貢献への新エネ導入支援事業新エネルギー設備導入支援事業」

公募期間：2021年5月24日(月)～7月14日(水)

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/setsuidounyuu.htm>

■北海道「令和3年度(2021年度)地域資源活用基盤整備支援事業費補助金」

公募期間 2021年5月24日(月)～7月14日(水)

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/kiban.htm>

■北海道「地域新エネルギー導入加速化調査支援事業」

公募期間 2021年7月14日(水)まで

[http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/sene/chousashien/r03chousashien\\_gaiyou3.pdf](http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/sene/chousashien/r03chousashien_gaiyou3.pdf)

■（一社）環境共創イニシアチブ「令和3年度地域共生型再生可能エネルギー等普及促進事業費補助金公募情報(地域マイクログリッド構築事業)」

公募期間

・2次締切：2021年7月30日(金)

・3次締切：2021年9月30日(木)

・4次締切：2021年10月29日（金）

<https://sii.or.jp/microgrid03/note1.html>

■（一社）環境共創イニシアチブ「令和3年度地域共生型再生可能エネルギー等普及促進事業費補助金公募情報（導入プラン作成事業）」

公募期間

・2次締切：2021年7月30日（金）

・3次締切：2021年9月30日（木）

・4次締切：2021年10月29日（金）

<https://sii.or.jp/microgrid03/note2.html>

■農水省「令和3年度バイオマス産業都市構想の提案を募集」

募集期間 2021年5月24日（月）～8月20日（金）

[https://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/bio\\_s/210524.html](https://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/bio_s/210524.html)

■（公財）ひょうご環境創造協会「令和3年度中小事業者省エネ設備等導入支援事業補助金」

募集期間 2021年5月10日（月）～12月24日（金）

<http://www.eco-hyogo.jp/global-warming/tyuushou2021/>

■静岡県浜松市「浜松市木質バイオマス設備導入支援事業費補助金」

受付期間 2021年4月15日（木）～2022年1月31日（月）

[https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/shin-ene/new\\_ene/mokushitsuhojokin.html](https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/shin-ene/new_ene/mokushitsuhojokin.html)

■東京都地球温暖化防止活動推進センター「地産地消型再エネ増強プロジェクト」

受付期間 2021年4月1日（木）～2022年3月31日（木）

<https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/chisan-zokyo>

■東京都「地方卸売市場省エネルギー等対応施設整備補助金」

受付期間 2017年4月1日（土）～2022年3月31日（木）

<https://www.shijou.metro.tokyo.lg.jp/jouhoukoukai-portal/pdf/jiritsu/hojo/g3-3.pdf>

■東京都「東京都区市町村との連携による地域環境力活性化事業」

事業期間 2014年度～2023年度

[http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy\\_others/municipal\\_support/current.html](http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy_others/municipal_support/current.html)

■静岡県富士市「令和3年度中小企業者温暖化対策事業費補助金」

<https://www.city.fuji.shizuoka.jp/kurashi/c0903/rn2ola00000cn7d.html>

■高知県「高知県木質資源利用促進事業費補助金」

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030501/2019022200068.html>

■高知県「再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/610301/2015060100117.html>

■高知県香南市「香南市燃料タンク対策事業費補助金」

[http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki\\_int/reiki\\_honbun/r254RG00001291.html](http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/r254RG00001291.html)

■高知県仁淀川町「仁淀川町再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

[http://www.town.niyodogawa.lg.jp/reiki/reiki\\_honbun/r191RG0000129.html#e000000030](http://www.town.niyodogawa.lg.jp/reiki/reiki_honbun/r191RG0000129.html#e000000030)

■北海道「林業・木材産業改善資金」

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/kaizennshikinn.pdf>

■栃木県「栃木県環境保全資金（省エネ設備等の導入）」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/kankyou/ondanka/syouene-setubi-yuusi.html>

※融資制度

■徳島県「自然エネルギー立県とくしま推進資金貸付制度」

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kurashi/shizen/5007685/>

※融資制度

■奈良県「新エネルギー等対策資金」

<http://www.pref.nara.jp/23346.htm>

※融資制度

- （公財）日本環境協会「令和2年度環境配慮型融資促進利子補給事業」

[https://www.jeas.or.jp/activ/prom\\_24\\_00.html](https://www.jeas.or.jp/activ/prom_24_00.html)

※融資制度

- 横浜市「よこはまプラス資金（環境・エネルギー対策）」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/plus/hozenshikin.html>

※融資制度

- 千葉県「環境保全資金（制度全般事業認定）」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/chikyuu-kankyou/ne/shien-jigyousha.html>

- 千葉縣市原市「市原市企業立地促進条例」

<http://www.city.ichihara.chiba.jp/kanko/0205sangyou/kigyourittigaido.html>

- 千葉県南房総市「南房総市施設園芸用木質バイオマス暖房機設置費等補助金」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>

- （独）農林漁業信用基金「災害で被災された方の支援について（新型コロナウイルス感染症による影響を含む）」

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/shien/index.html>

- NEDO「2022年度『新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業』公募対象となる海洋エネルギー、水力エネルギー、地熱エネルギー、バイオマスエネルギー等の研究開発課題に関する調査業務」に係る公募について【予告】

公募期間 2021年5月下旬開始予定

[https://www.nedo.go.jp/koubo/FF1\\_100319.html](https://www.nedo.go.jp/koubo/FF1_100319.html)

- NEDO「木質バイオマス燃料等の安定的・効率的な供給・利用システム構築支援事業」に係る公募について【予告】

公募期間 2021年6月下旬から1カ月間公募予定

[https://www.nedo.go.jp/koubo/FF1\\_100321.html](https://www.nedo.go.jp/koubo/FF1_100321.html)

- NEDO「バイオものづくり実装化及びバイオ製品普及に関する調査」に係る公募について【予告】

公募期間 2021年度6月中旬～2021年度6月下旬（予定）

[https://www.nedo.go.jp/koubo/NA1\\_100119.html](https://www.nedo.go.jp/koubo/NA1_100119.html)

- NEDO「2021年度『新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業』に係る第二回公募について」【予告】

公募期間 2021年8月中旬～2021年9月下旬（予定）

[https://www.nedo.go.jp/koubo/CA1\\_100313.html](https://www.nedo.go.jp/koubo/CA1_100313.html)